



し ふ う
志 風

『志風』を通して、皆さんに、学校や保護者、地域の願いを届けたいと思います。

学校にも働き方改革の波がやってきた！

校長 松谷 均

本年度の志貴野中学校の重点目標は以下の通りです。(昨年度より継続)

**思いやりと感謝の心を大切に、互いに協力し合い、大きな夢の実現を目指す生徒の育成
【あらゆる場面で「まじめがかっこいい」志中生を目指して】**

人前でも大きな声で発言できる生徒、相手より先に挨拶できる生徒、悪いことを見逃さず注意できる生徒、誰も見ていなくてもしっかりと清掃する生徒 etc.

これらは「社会人として当たり前の行動」です。しかし、中学生期の子どもたちは、人の目を気にするあまり、勇気をもって「当たり前の行動をとること」を避ける傾向にあります。それは「まじめー」とか「かっこつけー」などと他人に言われるのを嫌うからです。しかし、大人社会では「当たり前の行動をとること」は所属する集団を高めるためにはとても大切なことです。今年も志貴野中学校では「まじめがかっこいい」という合い言葉を多用して、まじめな生徒の多いまじめな学校になればと考えております。

さて最近、様々な場面で「働き方改革」が叫ばれるようになりました。昨年の中頃にも、「公立小中学校の教員の平日の勤務時間は11時間を超えている。また、中学校では6割の教員が『過労死ライン』の水準で働いている。」と、新聞等で報道されました。また、先日4月16日(月)には、NHK総合テレビの「クローズアップ現代プラス」において、教師の長時間勤務の労働実態を放映していました。さらには、文部科学省や県教育委員会からは、学校現場における多忙化解消を促進する通知文がよく届くようになりました。いよいよ学校における様々な活動を、根底から見直す必要が出てきたようです。そこで今年は、生徒の学力向上を基本としながら、学校の諸活動の見直しを図っていこうと考えております。

- ◇例年5月に実施していた家庭訪問を廃止します。
- ◇運動会種目のスリム化を行い、合唱コンクールと学校祭を統合します。
- ◇1学期の保護者会を、終業式後の夏休みに行います。(2学期は未定)
- ◇部活動では、少なくとも週2日以上以上の休養日を設定します。

以上の取組によって、年間の授業時間を増やすとともに、教員の授業準備時間を確保することができます。その結果、これまで以上に分かりやすい授業、きめ細かな授業を展開しながら、生徒の学力の向上を図ることができます。

まずは実行してみて問題点があれば見直していきます。これらの取組に関して、保護者の皆様方からのご意見をお待ちしております。